

DÉCEMBRE 2023
GUIRLANDE

一花 一葉

花材
ヒムロ杉
サンキライ

Tamaki art floral

ガーランド作り

① ヒムロ杉を小枝で切り分ける。



② 葉を落とした枝を軸にして、ワイヤーで小枝を巻きつける。



③ 上まで葉を軸に巻き付けたら、アクセントにサンキライをワイヤーで付ける。



④ ラフィアを結んで出来上がり。



ガーランドの由来

ガーランドとは、花をつないだフローラルアートのことです。

博物学者でもある荒俣宏氏は「ブーケというのは、花をたくさん集め、花も葉も切断してしまう一種の花輪であり、花冠である」と述べ、花を束ねる、繋ぐ手法は基本的に同じものであると強調しています。

それが、「花を生ける」よりもずっと前にあった花文化です。

その原型は、紀元前4000年頃、古代メソポタミアの印章にこのガーランドの意匠が見られます。

紀元前7世紀には、「花を捧げることによって神聖なるお方（神々）の微笑みは増すが、ガーランドを身に纏わないものには目もくれないだろう」との記述があり、必要な儀式には欠かせないものとなっていたことが伺えます。

ルネッサンス以降のヨーロッパで、室内を飾る「インテリア」という観念が台頭し、ガーランドはここでも注目を浴びヨーロッパ文化に根付きました。

水の入ったガラスや陶器の器に花を挿すことが主流になったのは17世紀以降のことです。



『注文の多い料理店』序

わたしたちは、氷砂糖をほしいくらいもたないでも、きれいにすきとおった風をたべ、桃ももいろのうつくしい朝の日光をのむことができます。

またわたくしは、はたけや森の中で、ひどいぼろぼろのきものが、いちばんすばらしいびろうどや羅紗らしゃや、宝石いりのきものに、かわっているのをたびたび見ました。

わたくしは、そういうきれいなたべものやきものをすきです。

これらのわたくしのおはなしは、みんな林や野はらや鉄道線路やらで、虹にじや月あかりからもらってきたのです。

ほんとうに、かしわばやしの青い夕方を、ひとりで通りかかったり、十一月の山の風のなかに、ふるえながら立ったりしますと、もうどうしてもこんな気がしてしかたないのです。ほんとうにもう、どうしてもこんなことがあるようでしかたないということを、わたくしはそのとおりに書いたまです。

ですから、これらのなかには、あなたのためになるところもあるでしょうし、ただそれっきりのところもあるでしょうが、わたくしには、そのみわけがよくつきません。なんのことだか、わけのわからないところもあるでしょうが、そんなところは、わたくしにもまた、わけがわからないのです。

けれども、わたくしは、これらのちいさなものがたりの幾いくきれかが、おしまい、あなたのすきとおったほんとうのたべものになることを、どんなにねがうかわかりません。

大正十二年十二月二十日

宮沢賢治